



## 平成8年度同窓会 定時総会開催される



平成八年六月十六日(日) 母校会議室に於いて開催されました。  
例年の総会は六月第一日曜日に開催しておりますが、本年度は他の行事と重なり二週間遅らせて開催しました。  
当日は会長以下百三十一名(委任状を含む)が出席しました。  
開会宣言の後、会長の挨拶で、創立五十周年記念行事に対しお礼の言葉があり、続いて次の六十周年に向けて力強く会の活動を進めて行きたい、特に清里寮の運営には格段の力を注ぎたいと述べられました。島田事務局長を議長に選出し、議事が進められた。



各議案の詳細は別紙を参照して下さい。

- 一、平成七年度事業報告及び決算報告の件
- 二、役員改選及び専門委員会の件
- 三、平成八年度事業計画及び収支予算の件
- 四、同窓会々員名簿編纂の件
- 五、財団法人「清陵会」設立の件
- 六、清里寮運営委員会特別報告
- 七、「清里寮維持協力会」発足の件

### 本年度 重点活動目標

## 清里寮の財団法人化

「昨年度前半に行われた創立五十周年記念行事は、前回の会報でも報告したが、その後も同窓会が果たした役割が高く評価されている。

一方同窓会名簿に関しては、住所不明者が多く(現状は約63%の判明率)、確認作業が大幅に遅れ、特に名簿を申し込まれた方々には大変迷惑をかけてしまった」と事務局より報告があった。

今年度は清里寮に関する活動を重点的に行っていくことが確認された。



清里寮「開寮祭」―庭の清掃作業を終えて

# 清里寮とともに

会長 久保村昭衛



清里寮 庭にて

同窓会々員の皆様方にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて昨年の東京都立中野工業高等学校創立五十周年の栄えある記念行事に際しましては物心両面からご協力を頂きまして誠に有り難うございました。お蔭をもちまして創立五十周年記念行事を総て無事に終了させて頂きました事は偏に皆様方のご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。吾が母校及び同窓会も一段と名声を揚げて頂いた事と思えます。毎年お願いして参りましたが、同窓会で運営しております清里寮の件であります。本年より特に全員一丸となつて最善の成果をあげるべくお力添えをお願いしたいものと思ひます。皆様もご存じの如く清里は今やリゾート地としてばかりでなく、青少年の心身鍛練の場として注

目を浴びているところであります。

清々しい空気のなかで私など今までは触れたことも見た事もなかった座禅草などが力強く雪の下から出ているのには驚きと共に嬉しくなつて若い方々にもみせてやりたいと思ひました。都会では触れる事の出来ない自然が一杯あるのです。夏ともなれば、近くにあるスポーツセンターをはじめ、牧場、登山、ゴルフ、冬はまたスキーにと、この寮を足場として鍛錬をさせて頂きたいと思ひています。

部屋数は六室、収容人員は約三十名、四月より十一月までは、総て寮の管理人が賄つておりますので、お子様づれでも安心してご利用願えらると思つて居ります。

私はここで皆様には是非共願ひしたい事は、同窓生は八千余名と多いのに利用数が誠に少ないものですから運営は困難であります。健全な精神と体力を養うのに素朴さも大切でしょうが、現時代にとりもなつた充実した施設も多く入れて皆様



寮の庭に咲く座禅草

で楽しめる場として生かすべきだと思つております。

同窓会々員の方々ばかりでなく、ご家族、ご友人、同僚の方々にも一度利用頂きまして意義のある進歩あるお言葉頂き度く思ひます。どうか「使える」「楽しめる」清里寮にして下さい。

同窓会の会議の出席者も最近多くなつて参り新しい方々も顔を出して下さいます。新しい有意義な考え方の発言も頂いて活力ある会議に変わつて参りました。どうか一人でも多く出席して新風を吹きこんで頂き度くお待ち申し上げます。

本年も又同窓会並びに清里寮発展に一生懸命努力して参ります。一層のご指導とご協力をお願い致します。



# 紅葉祭にて

昨年の十月二十八日、二十九日に清里寮にて恒例の紅葉祭りが催されました。

二十八日の夕食は、3・C卒業の新井同窓会副会長が、鮭をにぎつて下さり、宴会を大いに盛り上げて頂きました。後でお話を伺つた処、趣味が高じて鮭種ケース他、グッズ一式を揃えられたとのこと。腕前の程は？ それは参加者のみを知り得たヒミツです。

新井さんに、この場をお借り致しまして心より感謝申し上げます。



# 中工に赴任して

教頭 斎藤 信一郎



同窓会の皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、私四月一日付をもちまして、都立墨田工業高校月島分校教頭から都立中野工業高校に教頭として着任致しました。

数ある工業高校の中でも有数の伝統校である中工に着任しましたことを大変うれしく思っております。同時に歴史と伝統の重みをひしひしと感じているところがございます。

同窓生の皆さん、実社会の真只中で働いておられる皆さんの息吹は、皆さんが本校に残していかれた足跡と一体となつて、在校生の胸に生きた力となつて働かせています。

この一体となつて働きかけてくる何者かは、同窓生の皆さんが、中工五十年の歳月をかけて営々として培つてこられた本校の持つ宝物です。これこそ、中工の伝統であり、校風であると思います。



私が、本校に参りまして、間もなく七ヶ月が過ぎ去ろうとしております。

この間、始業式、入学式、対面式、芸術鑑賞会、合唱祭と各種の儀式、学校行事が行われましたが、それぞれの生徒の振舞は立派なものでした。

服装もきちんとしており、先生方が話をしている間、私語をする者が一人もいません。

これは、大変なことで本校の先生方の生徒指導のすばらしさであると同時に同窓生の培つてこられた宝物が、在校生の一人一人に生きた姿として見ることができるよう思えてなりません。

さらにもう一つの宝物は、中工清里寮です。

白樺の林に囲まれた、学校寮の地域の入口近くに建っている瀟洒な、この寮を永年に亘つて維持し、守つてこられた、同窓会、PTA・OB会の皆様感謝すると共に、これを有効に使うことが、宝物を生かすことだと考えます。私は、先輩の先生方や同窓会の皆さんが築いてこられた、この本校の伝統と校風等の宝物を維持し、一層発展させることを使命と考え、小林校長先生のご指導のもと、教職員の方々と一体になつて努めて参る所存です。

どうか、久保村会長さんを初めとして、八、四二九人の同窓生の皆さん、母校に対するご支援をお願いします。

# 清里寮運営委員長就任にあたって

副会長 竹井 博



同窓生の皆様方には、ご清祥の事とお慶び申し上げます。

私は、十年近く総務委員会で活動してまいりましたが、今年度から清里寮運営委員会委員長として、同窓会役員の皆様と一緒に清里寮を運営して行くこととなりました。

私は、寮建設の検討段階から、この寮に拘わつてまいりました関係で、末長い寮の存続を願っている一人であります。今までも再開寮を目指した十年前程より、屋外のペンキ塗り、室内の天井や浴室の修理等を同窓生やPTA・OBの方々と一緒に手がけて来ましたが、

今後は、財団法人化を目標にした、寮維持協力会を発足させ、今まで以上に力を注いで行きたいと考えております。幸いな事に、先の同窓会総会に於いて、同窓会役員全員が清里寮運営委員となつて、その力を結集し、活動する事が決議され、とても心強いものを感じています。

しかし問題もあります。現在の運営状況は、決して健全な状態であるとは言えず、一部の方々には大きな負担が掛かっています。再開寮してから十年近くなり、この二、三年で寮運営に關しましてきちんとした方針を打ち出して行かなければならないと考えております。

これからは清里寮を維持運営して行くためには、同窓生の皆様のご協力が無ければ、成り立つていきません。皆様方にも泊でも多くご利用頂きます。健全な寮の運営を図って行きたいと考えております。その為に、寮の設備を充実させ、屋外でのバーベキューセットを増設し、什器、備品も徐々に新しいものに交換しております。勿論寮周辺の情報提供も重要であると認識し、同窓会報や現地でも最新の情報を流すネットワーク作りに着手致したところです。

清里寮運営に關しまして、皆様方の意見をより多くお聞かせ頂き、寮を益々発展させて行きたいと思っております。

五頁に利用案内を掲載してありますので、清陵会事務局か、現地の「ご意見箱」まで、どしどしご意見をお寄せ下さい。



# 夏休みの報告

校長 小林 一夫



私が中工に来て早くも四年になります。この四回目の夏休みに、始めて妻と二人で、清里寮を利用しハイキングをして参りました。直接の動機は、中工同窓会が心の故郷としている清里寮を妻にも一度見せておかねばと思ったからです。

清里寮は、単に宿泊だけでなく、レジャーのための基地としても使える大変利用価値の高い施設だと思います。

今回、私はここを利用して、中央アルプスと北八ヶ岳に行ってきました。

中央アルプスは三千米級の山々から成る連山ですが、東洋一の山岳ケーブルが敷設されているので、麓の駒ヶ根温泉からケーブルの終点である千畳敷カールまで、二時間程度で行くことが出来ます。大変便利なところですが、それだけに富士山並の混雑です。ケーブルの無い頃は本当の秘境だった千畳敷カールも、今ではサンダル履きのお兄ちゃんお姉ちゃんが闊歩しており、がっかりです。しかし

それから一時間も上れば有名な宝剣岳、三千米級のアルプスの雰囲気が満喫できます。僅か一時間の登攀で別世界のよう

に静かなのです。久しぶりで命の洗濯をしてきました。今回は先に宝剣岳へ直行し、帰りに清里寮に行くルートをとりました。駒ヶ根温泉から清里寮迄は、車で二時間程度で行けます。

清里寮に一泊し、翌日は八ヶ岳に向かいました。麦草峠近くの駐車場に車を置き、白駒池から高見石まで歩きましたが、休息を入れておよそ4時間のハイキングです。ここは、千畳敷と違って人影もまばらで静かなところです。高見石から白駒池の眺望は絶品、是非一度は行ってみたいところです。帰ってきて暫くしたら、新聞の行楽地穴場情報に写真入りで出ていました。秋は紅葉で特に良いそうです。帰りは清里寮近くの自由市場で、野菜やら果物をどっさり買い込みました。近

所へのお土産はブドウと桃、桃は特に喜んで頂きました。土産としては、下手な菓子類より余程いいと思います。

同窓生の皆さんも一度行ってみては如何ですか。



# 清里寮の思い出

前管理人 黒田 郁子

私が中野工業高校清里寮の管理の仕事させて頂いたのは、平成三年春から平成六年秋までの三年半でした。主人が隣町の野辺山の牧場に勤務し住宅もあつたので清里と野辺山を行ったり来たり二重生活をしながらの仕事でした。

一番最初に清里寮を見た時の印象は、「古い！」（すいません）と言う事でしたが玄関に入って奥に真っ直ぐ続くピカピカの木の廊下やタイル張りの洗面所は、昔どこかで見た様な懐かしさを感じました。また、十畳二間続きの縁側のある大広間から見る広い庭もとても素敵で心休まる様な眺めでした。

## 管理の仕事

は初めてでしたが清里寮は中野工業高校の関係者の方しかいらつしやらず、とても安心して仕事をさせて頂きました。皆さん家族的な雰囲気で我家の子供達も家族でいらつしやる子供さんと友達になつ



たり遊んだり、仲良くさせて頂きました。

また毎年恒例の平清会の皆さんの集まりもとても賑やかで、おもちつきや芸達者な皆様の夜の宴会も盛大で楽しいものでした。同窓会の皆様も毎年寮の整備にいらして、庭の手入れや遊歩道作りをされたりと山の中の寮をととても大切に守っていらつしやるのだなあと感心いたしました。

清里寮の回りは木々や緑が豊かで、春には座禅草、夏にはたくさん野草、そして秋にはみごとに色々の紅葉と四季おりおりの楽しみがありました。でも冬は寒さが厳しく管理の大変さもありましたが皆様に助けて頂き四年間務める事が出来ました。

現在は山から全く違う八丈島という海での生活しておりますが、時々清里のカラッとしたさわやかな空気と木々の移り変わりの様子を思い出します。またきつといつか、清里寮を訪れたいと思っております。



# ああ青春清里寮

25 FA 亀石由美子



早いもので、中工を卒業して二十周年本人ははげつてそう思っていないのですが、どこから見てもりっぱな「オバサン」となりました。高校時代の友人とは不思議なもので、十年位無沙汰しても、お互い立派な「オバサン」となっても、空白の時間があつというまに埋まってしまいます。すっかり気分は女子高生、(この表現にはかなり無理がありますでしょうか?) オシャベリに夢中になってしまします。その尽きないオシャベリの中にも、よく修学旅行と清里寮の話は出て来て、今でも笑い転がっています。

なにしろこの私、修学旅行の事は、夜旅館で騒いだ事しか覚えていない不屈きものでありまして、私達の班は、松沢先生に「昼間バスの中で眠つてはいけない」と怒られたくらいです。

こんなふうなので、清里寮の事となるとう大変です。私達の頃は一年生の夏休みに、クラス単位で二泊三日の予定で清里寮を利用していました。あの頃の清里は何もなくて、ただ自然があるだけの所でした。それが都会の高校生にとって、かえって新鮮に映り、飯盛山の山登



り、大門川での飯盒炊さん、夜のキャンプファイヤーと、思いっきり「青春！」してまいりました。

この時の思い出が忘れられなかったのでしょうか、高校最後の夏休みに私達三FAでは、また清里寮へ行こうという話になりました。ワイ



でもあの時一番乗っていたのは絶対に、松沢先生だったと、今でも私達の間では語り継がれている話です。何しろ飯盒炊さんの時の気合いの入れようときたら大変なもので、あ然とする私達をもろともせず、張り切っ

ていました。もちろん私達も負けてはいませんでした。……。

ワイ計画を立てていきましたが、高校生だけで行くのもちよつとまずいのではないかとというムードになりました。松沢先生と一緒にいこうと言え、親も説得できるし、皆安心なので、先生に無理を承知で同行をお願いしてみましたところ、先生は快く引き受けて下さつて約二十名のそれはそれは、やかましい団体旅行と相成りました。

せっかくのお休みに私達悪ガキ連中におつき合ひして下さい松沢先生には、本当に感謝・感謝であります。

寮の屋根の上をバタバタ走り回ったり、「肝だめし」だと言つて暗闇の中へ大さわぎで出て行つたり、管理人さんもさぞかしビックリされた事でしょう。この時は、朝から晩まで一日中笑い転がっていたように思います。実は屋根の上を走り回ったのはこの私です。

夕暮れ時、屋根の上から見た八ヶ岳の美しさは今も忘れられません。ハチャメチャな旅でしたが楽しいひとときでした。今でも清里寮が昔のまま残っている聞き、うれしい限りです。これも諸先輩、皆様のご尽力と心より感謝致しております。今や清里周辺はすっかり様変わりして、寮の老朽化も目立って来たとの事、清里寮は私達中工生の財産です。皆で力を合せて守つて行きたいものです。未来の中工生の為にも。



## 申し込み方法は

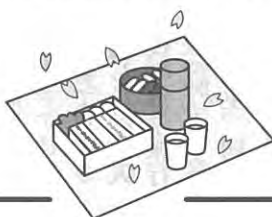
清陵会(清里寮維持協力会)に申し込む。利用希望日の前月一日(休日の場合は翌日)より受付を始める。但し夏休み期間中の利用は六月一日より受け付けます。  
TEL 〇三―三九九一―六七二三  
事務局 和泉産業(株)内 小池まで  
受付時間 A M 十時より P M 五時まで

## ―利用料金は―

### 1泊2食付き (H8年4月 現在)

- ・大人(18才以上)・・・4,500円
- ・中人(中・高校生)・・・3,500円
- ・小人(小学生以下)・・・2,600円
- ・幼児(3才未満)・・・無料(食事なし)

※詳しくは申込時にお問い合わせ下さい。



# 私の清里寮!

## そしてお願い

PTA・OB会 安藤芳男



都立中野工業高等学校の入学式から帰って来た息子から、一片のパンフレットを手渡された。二色刷の綺麗なものだった。それが清里の「学校寮」の案内である。

私はその時迄、都立高校に学校寮が存在するなんて考えてもみなかった。良い学校を選んだものだと思いを直したものである。

それから早くも17、8年の歳月が流れて、いまだにそのパンフレットに魅せられたのか清里寮との長い付き合いが続いている。今、振り返ってみると様々な問題があり、怒り、泣き、笑い、そして苦しみ等、筆舌に尽くせない位に大変な時期が暫く続いた。

それも同窓会に管理運営を委託してからは、同窓会のすごい組織力でスムーズに九年間が流れてきたと思う。だがこれからが大変であって、皆さんにお願いしなければならぬことになってきました。

それは近年、寮を利用する方が減少し、諸経費の高額なアップ等で、同窓会役員の方の寄付でどうか当場を凌いでいる現状を見るにつけ、方向転換を計らなければと私なりにズツと悩んでいた。この飽食の時代にあつて、中工の生徒に、父母に、この学校寮の素晴らしさは、自然環境の美しさにある等の広報活動はどうしたらよいか。話に聞くと、生徒も父母も一回もまだ寮に行った事がないと言った人が多数いると聞く。また寮の存在すら知らない人がいるのも現実らしい。これでは折角の宝も持ち腐れである。生徒同士の交流の場としても、家族団欒の場としての利用することの価値は充分にあると思うのだが。利用者が少なければ寮の運営は成り立たず、老朽化する建物の管理もままならない。あくまで学校の寮である以上、同窓会だけに頼らず、学校関係者一同が揃って力を合わせ協力していけば活路が開けるものと思う。

そこで今回、「清里寮維持協力会(仮称)」を発足させ、財団法人設立達成迄の間、PTA、PTA・OB会、同窓会が一体となつて賛同者を募り、皆さんの力を結集して清里寮の運営管理をバックアップしていきたいと思うが如何でしょうか。学校寮は皆さんの寮であり、皆さんの財産であるという信念で行動していきたいものである。

創立50周年の記念すべき年を経て、更にこの先60年、70年と学校と共に清里寮を発展させていくには皆様の協力が必要です。

『中工を愛する』心ある皆様には是非お願いします。力を貸して下さい。貴方の力を……

そして共に歩いていって下さい。皆様方の可愛いお子様の未来の為に。

# 清里寮に行つて

PTA会長 大久保美代子



同窓会の皆様、初めまして。今年度、会長を務めております。

日頃、私どもPTA活動には、ご理解とご協力を頂き心より感謝いたしております。

事務局の方より、同窓会々報の原稿をお願いされて、さて、何を書こうか考え込んでしまいました。

まだ、清里寮には二回しか行ったことがありませんが、私なりに感じたことを書きたいと思えます。

私が清里寮の事を知ったのは中工の広報誌でした。清里と言えば四季折々の顔をもつ大自然と観光地で、軽井沢にも負けないくらい避暑地と若者の町……そんな場所に、中工の寮が在るなんて、なんとラッキーなんだろうと嬉しく思い、早く行って見たくなりました。

そんな時、厚生部のPTA見学研修会で、「清里寮と美術館めぐり」があり、

早速、参加申し込みをし、初めて寮を見ることができました。

六月の清里寮は、深い緑の中に落ち着いた佇まい?で、私たちを迎えてくれました。

寮では、同窓会の方々の案内で庭の散策をし、二時間と短い時間でしたが、楽しく過ごすことができました。

二度目にお世話になったのが、四月に行う「清里寮開寮祭」でした。二日が行う寮の周りの大掃除は、先生、同窓会、PTA・OB、PTAの皆が協力して頑張ったり、倒木や枯れ枝を集めファイヤーストームを行って、その火で焼き芋を作り、皆で焼き芋を食べながら雑談に花が咲きました。

夜は、皆さんと大広間で懇親会を開き、色々な人の話を聞く事ができ、時間の経つのを忘れてしまうほどでした。

また、自分達の部屋では、皆でワイワイガヤガヤ、女三人寄れば羨しい、三人以上なので、まるで学生時代の修学旅行に来たようで、本当に楽しい一時でした。

私は、清里寮があるから、先生、同窓会、PTA、OBの方々と、気軽に会えて楽しい時を過ごす事ができるんだと思っています。

是非、大勢の皆様が清里寮が在る事を知ってもらいたいし、大いに利用して頂き、楽しい思い出を沢山つくってほしいと思います。今まで清里寮を維持運営をして下さった皆様に、心より感謝し、現PTAの私達にもお手伝いさせて頂きたいと思っております。

同窓会の皆様の方々のご発展を祈念して私の文を終わります。

# 清陵会《清里寮維持協力会》発足!!

事務局長 小池 邦男



昭和六十一年六月の同窓会総会に於いて、学校寮としての「清里寮」を、同窓会がその管理・運営を担うという事が決議された。同時にその運営資金を調達するに当たり、同窓生の多くの方からご援助を頂く手段として、同窓会々費の徴収制を導入することが決議されました。

この決議に基づき、同窓会の組織内に清里寮運営委員会を設置し、選出された委員の皆様の献身的な努力により多額の寄付金等で資金を調達し、現地調査を繰り返して「清里寮」の大改修に着手しました。トイレの水洗化に始まり風呂場の改修、屋根・天井の補修、寝具類の新調等を行い、更には、管理人を雇用し、翌昭和六十二年四月に再開寮にこぎつけることが出来ました。

以来、この「清里寮」を運営する事に

より、同窓生の相互の親睦を図り、また、学校関係者等と共に教育環境の向上と青少年の育成並びに福利厚生増進に寄与することを目的として活動を続け、本年（平成八年）で再開寮後十年という実績を築くことが出来ました。これは偏に同窓生の皆様の暖かいご支援とご尽力の賜であり、衷心より感謝申し上げます。

さて、「清里寮」のこの十年間を振り返って見ますと、クラス会や種々の会合を「清里寮」で開催して頂いたり、また、同窓生の家族単位での宿泊等がその利用の多くを占めておりますが、反面、残念なことには私達の後輩の在学中での利用がほとんど見られなかった事です。

当初、「清里寮」の管理運営を委託された時、同窓会としては、「清里寮」の運営を軌道に乗せ、かつ、在学中の生徒たちに大自然の中の共同生活を体験させ、教師と生徒の連帯感の向上に寄与でき、現在の社会事情にも適合する学校寮の在り方を追求しようと願っていました。

このような大きな目標を掲げて、同窓会として何をすべきなのか、また何を

してきたのか、この十年間の歴史であったと思われ



まず最初に取り組んだ事は、PTAやPTAOBの皆様との交流を盛んにして同窓会活動をいかにご理解して頂くかという事です。

新春交歓会の共催、PTA見学研修旅行への協賛、中工祭でのPTAバザーへの協力、毎春の「清里寮」開寮祭へのお誘い等々の実績を積み上げ、その最大の成果は昨年の創立五十周年記念行事であったと思われま

す。三年余という準備作業をPTAやPTAOBの皆様と一緒に続ける事により相互の理解と信頼関係を築き上げる事が出来たと確信しております。「清里寮」にあつては、工業高校の学校寮とはどうあるべきなのかを模索し、かつ、標高の高い寒冷地での寮の運営はどうかあるべきなのか、旅館やホテル、ペンションとの違いをどこに求めるのか、これらの多くの課題と取り組みながら大自然の意に沿い、敷地内の草木を保護し、夏季の清涼さと飲水の旨さを愛で、満天の星を数え、恩賜林として保護されている周辺の山林の探索、八ヶ岳登山の基地として、冬季はスキーの宿等々、この様な夢を実現すべく数々の事業を計画し実行を繰り返してきた十年であつた。

今夏、学校関係者のそれぞれの代表が集い「暑気払い」の宴が開催されました。この席で「清里寮」の今後について話し合わせ「清陵会」（清里寮維持協力会）を結成して、PTA、PTAOB会、同窓会の三者で「清里寮」を維持・発展させていく事になりました。

この事は私達の清里寮運営委員会が長



期にわたり準備検討してまいりました財団法人設立の願いが、ようやく、ご理解頂いた事であり、学校関係者の総意をもつてその設立準備を進めたいと願っております。

現在の同窓会組織内の清里寮運営委員会と財団法人設立委員会を発展的に解消し、この「清陵会」（清里寮維持協力会）へ移行させ、なおかつ、その運営の中心的役割を担っていかれたらと願っております。

【清陵会】（清里寮維持協力会）が発足後、早い時期に現在の清里寮運営委員会の予算の管理を移行させ運営に支障をきたさないよう事務処理を行います。

どうか「清里寮」を愛する同窓生の皆様にも、この「清陵会」（清里寮維持協力会）へご入会頂き機運の高まってまいりました財団法人設立への大きな原動力になって頂きますようお願い申し上げます。

この同窓会報とは別に「清陵会」（清里寮維持協力会）よりご案内が郵送される事になっていきますので、趣意を十分にご理解いただきご賛同頂きますようお願い申し上げます。

## 会員名簿発行のお知らせ

母校の創立五十周年行事の一環として、会員名簿発行に伴う協賛金をお願いしてまいりましたが、住所不明者が35%を越えております。現状での名簿発行は、その意義が無くなってしまおうと思われず。住所不明者の調査を進めているところですが、限界があり、次年度までの二年間で専門機関に依頼することになりました。つきましては、調査費用を捻出するため、左記の要領にて協賛広告の募集を致しますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ◆同窓会会員名簿発行に伴う協賛広告の募集要項◆

- 協賛 A 名簿購入のみ(同窓会年会費を含む) 五千円 二百名
- 協賛 B 名刺広告掲載(同窓会年会費を含む) 一万円 五十名
- 協賛 C 企業広告、中工OB会(同窓生十名以上) B5判半頁  
(版下提供) 五万円 十社
- 協賛 D 企業広告 B5判一頁  
(版下提供) 十万円 五社

協賛B、C、D、には、それぞれ必要部数の名簿を贈呈致します。

## 事務局よりお願い

同窓会員の皆様方にはご清祥のこととお慶び申し上げます。  
毎号お願いをするばかりで、恐縮致しておりますが、今回も皆様方のご協力を賜わりたく、よろしくお願い致します。

### 一、年会費納入について

毎号ご協力を呼びかけておりますが、健全な運営が出来るようになるまでには、まだまだ資金が不足しております。年会費二千元を、同封致しました振り込み用紙をご利用頂きまして、お振り込み下さいますようお願い致します。なお、振り込み用紙は、名簿協賛金、その他寄附金等の振り込みと、兼用になっておりますので、よろしくお願い致します。

### 二、お知らせ

最近、同窓会々員宛に色々な新聞社より、母校の恩師の退官記念に名刺広告の依頼が、電話などを通じて行われている様ですが、これらの件に関しましては、学校当局及び同窓会は拘わっておりません。飽くまでも同窓会個人でのご判断で対処して下さいませようお願い致します。ちなみに同窓会では、この様な依頼をさせて頂きます時は、同窓会報或いは文書にて同窓会名で行いますので、その節はよろしくお願い致します。

### 三、諸行事への参加について

年間の大きな行事は左記の通りです。この他にも各種の行事、会議があります。皆様の積極的なご参加を心よりお待ち申し上げます。諸般の事情により変更せざるを得ない場合がありますので、詳しい事は、後述の事務局までお問い合わせ下さい。

四月第四土、日曜日  
**清里寮清陵祭**  
六月第一日曜日  
**同窓会総会**  
十一月三日(祝)  
**中工祭**  
十一月第二土、日曜日  
**清里寮紅葉祭**  
一月最終土曜日  
**新春交歓会**

## 編集後記

いつの間にか秋風が吹くころになってしまいました。やっと会報が発行できました。  
今期号は清里寮に関する原稿を中心にまとめましたが、原稿をお願いした方には、会報の発行が大幅に遅れてしまいました。大変ご迷惑をお掛け致しました。ここでお詫び申し上げます。

本年度の総会の中で、会報の編集につきましてご意見を頂きました。今回発行の会報には、ご意見を十分に反映させる事が出来ませんでした。次号は早い段階から総務委員会を招集して編集方針をきめ原稿依頼などを進めて行きたいと考えています。  
クラス会や同期会あるいは企業内中工会の活動等の情報や、エッセイ、俳句などの原稿を募集致しております。上記事務局までお寄せ下さい。



- 問い合わせ先事務局  
〒177 練馬区高野台二丁目二十一番一〇五  
小池 邦男  
TEL 〇三―三九〇四―七二六一
- 〒176 練馬区豊玉北五丁目三十一番一  
豊玉ビル和泉産業(株)内  
小池 邦男  
TEL 〇三―三九九一―六七二三  
FAX 〇三―三九九一―六七〇一

平成八年十月三十一日発行  
東京都立中野工業高等学校  
**全日制同窓会 会報**  
〒165 東京都中野区野方三丁目一五  
TEL 〇三―三三八五―七四四五  
編集発行 同窓会総務委員会  
印刷 (株)ヤマト